

九州の身近なデータを  
ワンポイント解説する  
コーナーです。

# DATA in 九州

今月の注目データ

## 牛肉の輸出額

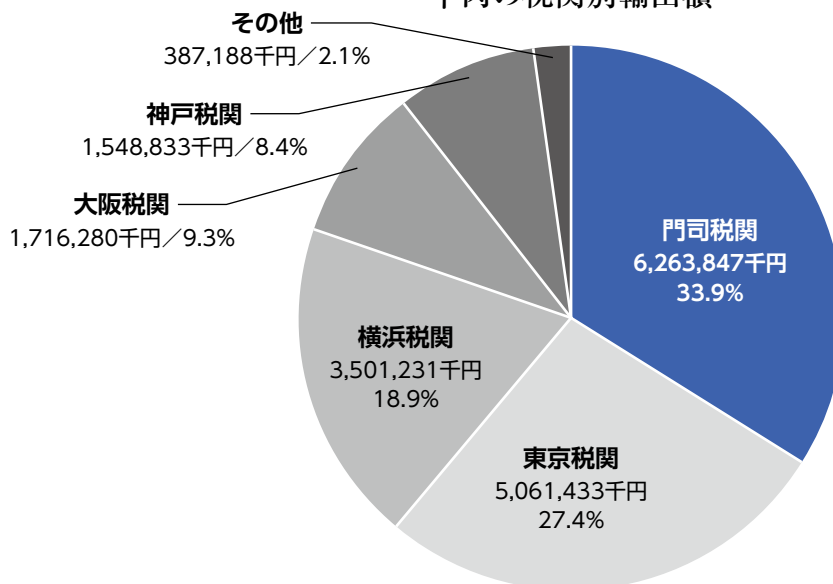
世界で認められた日本の伝統的食文化である和食。その和食の美味しさを引き立たせる食材のひとつが和牛です。恵まれた自然環境のもと大切に育てられ、とろけるような味わいの霜降りの和牛は、近年、アジアを中心に海外でも人気が高まっています。

海外人気に伴い、日本の牛肉の輸出額（※1）は好調で、2017年は対前年比36.4%増で推移しています。そこで全国の税関別に牛肉の輸出額を見てみると、門司税関管内（※2）のシェアが33.9%と全国第1位になっています。

門司税関管内における牛肉輸出の相手国はカンボジアが32.5%、次いで香港が26.5%、アメリカが15.0%と続いています。中国や韓国、サウジアラビア等では日本からの牛肉輸入が禁じられており、今後、これらの国々への輸出解禁に向け、各国との検疫協議等を戦略的に展開していくことが期待されています。

（※1）冷蔵・冷凍を含む  
（※2）門司税関の管轄区域は、山口県全域と、九州のうち有明海に面する地域を除く福岡・佐賀の両県、大分・宮崎の全県と長崎県の杵岐・対馬

牛肉の税関別輸出額



出所：財務省貿易統計 統計品別税関一覧表を基にFFGビジネスコンサルティング作成